

第27回人間らしく働くための九州セミナー in沖縄のご案内

2016年11月12日(土)

【全体会】 13:30～ 会場:沖縄県男女共同参画センター「ているる」ホール

【交流会】 18:30～ 会場:パシフィックホテル沖縄

11月13日(日)

【分科会】 9:00～12:30 会場:「ているる」、沖縄大学



人間らしく働くための九州セミナーin 沖縄現地実行委員会

事務局

〒900-0024 那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3F

TEL:098-833-3397 FAX:098-833-3398

E-mail:okisemi27@gmail.com URL:<http://kyusemi.jp/>

《人間らしく働くための運動を育んできた九州セミナー》

我が国の働く人びとをめぐる情勢はいっそう厳しさを増しており、雇用破壊、健康破壊、貧困が進行し、今日のように深刻な状況をもたらすに至っています。こうした労働環境が悪化する中で、働く人びとの命と健康を守るための学習・交流の場として、1990年に「人間らしく働くために労災職業病九州セミナー」が開催され、今年で27年の歴史を重ねてきました。2010年からは、新たな発展をめざして「人間らしく働くための九州セミナー」に改称し、九州各地の組織や労働組合などの団体、専門家と連携し、「人間らしく働くための」運動を育んできました。

《 今回の基本コンセプト 》

九州セミナーは5年前(第22回宮崎セミナー)、初めて「子どもの貧困から見える大人の働き方」をテーマに取り組みました。あれから5年、働く人びとを取り巻く状況は悪化し、子どもの貧困率も悪化しています。未来を担う子ども達への「貧困の連鎖」を断ち切ることが重要です。

開催地沖縄の子どもの貧困率は29.9%です。2030年には貧困率10%をめざし具体的な取り組みが始まっています。子どもたちへの貧困の連鎖を断ち切るためには、親である私たちの働かされ方・働き方を見直して行くことが必要です。私たちを守る権利を知ることが重要です。昨年の佐賀セミナーで取り組みました「ワークルールを学ぶ」企画を今年も引き続き実践します。

《 企画のご案内 》

<1日目> 全体会会場：沖縄県男女共同参画センター「ていりる」ホール
那覇市西3-11-1 TEL098-866-9090

- 12:30 受付
- 13:30 開会 現地実行委員会あいさつ
九州セミナー代表世話人会あいさつ
- 14:00 記念講演 「子どもの貧困からみえてきた労働の問題を考える」
講師 浅井 春夫 氏(立教大学教授)
- 15:30 休憩
- 15:45 パネルディスカッション
「子どもの貧困から見える、親の働かされ方・働き方」
- 18:00 終了
- 18:30 夕食交流会 ※地酒の持ち込み歓迎
会場：パシフィックホテル沖縄 那覇市西3-6-1 TEL098-868-5162
2階 万座・珊瑚の間
- 20:30 終了

<2日目>

9:00 「働くルール」を学ぶワークショップと模擬授業(予定)

会場:沖縄大学

9:00 分科会 ※テーマと会場は、冊子でご確認ください。

会場:ているる、沖縄大学

12:30 終了

- ※ 2日目は、全体会はありません。ご希望の講座、分科会等にご参加ください。
- ※ 分科会では多くの方からの発言を確保するため、報告は7分以内でお願いします。
- ※ 上記以外の学習会が決まりましたら現地実行委員会ニュースでお知らせします。

《 報告の募集と、分科会のご案内 》

以下のテーマに沿った報告を募集します。いただいた報告は冊子にまとめ、九州セミナーで配布します。労働実態や日ごろの取組みなどを紹介できる機会ですので、奮ってご応募下さい。応募方法は、7頁をご覧ください。

分科会は、みなさまから寄せられた報告を編成、分類し、開催します。分科会のテーマ、会場は、九州セミナーの冊子でご案内します。

◆ 親の働き方と子どもの貧困

親の貧困が子どもにも大きく影響しています。経済的理由で授業料が払えない、修学旅行に行けない、給食が唯一まともな食事といった家庭が増えています。現代社会の親の働き方・働かされ方が、子どもたちにどのような影響を与えているのかご報告ください。

◆ 観光産業で働く労働者の健康権

観光産業で多くの労働者が働いている沖縄。観光産業で働いている労働者の労働実態、健康問題について考えてみましょう。

◆ 大災害の中で働く人びとの健康権

4月14日、4月16日に熊本・大分で発生した大地震から4ヶ月、今なお多くの人たちが避難所や車中泊という不自由な生活を強いられています。建築物の解体やがれきの処理、復興作業は今から本格的になってきます。大災害時の働く人びとの健康について議論しましょう。

◆ 学校、職場、地域で働くルールを学ぶ

「うちには有給休暇はありません」。みなさんのまわりにそんな職場はありませんか。働く者の権利や法律を知らない・教えられていない労働者が、職場での不当な扱いを受けています。人間らしい働き方をするために労働法は欠かせない知識です。学校、職場、地域で、働くルール学ぶことの重要性、学習に取り組んだ経験などをご報告ください。

◆ ひとり親世帯の働く環境について

ひとり親世帯は、低収入のうえ、子育ても仕事もすべて一人で抱えざるをえません。若年結婚は離婚率も高く、早すぎる出産は、若い両親から高等教育の機会を奪い、生涯賃金を大幅に引き下げ、貧困を子どもの世代に引き継ぐことにつながります。沖縄県の出生率は日本で最も高いが、シングルマザー世帯の出現率が全国平均の約2倍となっています。その大半は、所得が日本一低い沖縄で非正規雇用者として働くことになり、子どもを引き連れて貧困に陥りやすくなると考えられます。特に1人親世帯の子どもの貧困率が58.9%に達している現状もあります。

ひとり親で働く人びとの労働実態、健康問題など報告をお待ちしています。

◆ 働きながら介護を行っている人びとの健康権

介護離職とは、身近な方の介護を行うために、現在行っているお仕事を退職してしまうことです。日本での介護離職者は、年間約10万人といわれています。介護離職を行ってしまうと、収入が減り、社会との繋がりが途切れ、孤立する可能性が高まると言われています。介護を行いながら仕事を行っている人口は、2013年時点で290万人といわれています。

働きながら介護を行っている方々の実態と健康問題の報告をお寄せください。

◆ 職場での労働安全衛生活動

安心して働ける職場環境づくりに労働安全衛生活動は重要です。建設、製造、生協、教育、医療（大学・公立・民間病院）、自治体、印刷、流通、農協・漁協、食品加工など、さまざまな職場で取り組まれている職場環境作りと労働安全衛生活動をご紹介します。

2015年12月1日から「ストレスチェック」が法制化されました。各組織で取り組みが開始されていると思います。現状や問題点など持ち寄り議論しましょう。

◆ 労働者のメンタルヘルスについて

長時間労働、不安定雇用、人間関係、仕事上から生じるさまざまなストレスがメンタルヘルス不調を引き起こしています。メンタルヘルス不調の実態や対策、支援のあり方などをご報告ください。

◆ 職場でのいじめとハラスメント

昨年度、全国の労働局などに寄せられた労働相談のうち、「いじめ・嫌がらせ」に関するものは66,566件と、4年連続で最多となりました。いじめやハラスメントが起こる背景はどこにあるのでしょうか。どのようにして問題を解決していけばよいのでしょうか。各職場・労働組合の取り組み、改善事例などの報告をお待ちしています。

◆ 病気になった労働者の休む権利・職場に復帰し働く権利

病気になった労働者は職場でどのような扱いを受けているのでしょうか。休む権利や職場復帰はどのように保障されているのでしょうか。病気になった労働者の実態や復帰のための取り組みについてご報告ください。

◆ 過労死等防止対策推進法とこれからの課題

2014年11月、過労死等防止対策推進法が施行されました。同法の目的には「過労死等がなく、仕事と生活を調和させ、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現」がうたわれており、同法を効果的に活かすことが大事です。過労死等防止対策推進法への期待、同法を活かす取り組みなどをご報告ください。

◆ アスベスト問題

クボタショックから11年がたち市民の関心が薄らぐ一方で、中皮腫死亡患者数は毎年増加しており、アスベスト被害はますます広がりを見せています。国の救済は徹底しておらず、解体現場での被曝防止対策なども不十分です。現場の実態や取り組みなどの報告をお願いします。また、泉南アスベスト訴訟最高裁判決の意義やそれを活かした取り組みなどもご報告ください。

◆ じん肺・振動病など

最古の職業病といわれるじん肺は、現在も新たな患者を発生させています。じん肺患者の掘り起こし活動、じん肺裁判の現状、じん肺根絶を求める活動、振動病の現状や取り組みなどの報告をお待ちしています。

◆ 非正規雇用と健康

有期契約、派遣、パート、アルバイトなどさまざまな非正規雇用の実態は、労働者に長時間労働や不規則な労働を強い、低賃金で不安定な生活を余儀なくさせる、労働者の使い捨てです。その結果、労働者に過労、不眠、メンタルヘルス不調といった深刻な健康破壊を生み出し、憲法で保障された健康で文化的な生活にはほど遠い実態があります。非正規雇用と健康についてご報告ください。

◆ 格差社会がもたらす貧困と健康

労働法制の規制緩和が推し進められ、偽装請負・派遣・期間工といった“モノ”のように扱われ低賃金で働かされる労働者は、一日必死に働いても生活保護水準にも満たない暮らしを強いられています。最低賃金法の問題と非正規労働者の労働実態、母子家庭や父子家庭での制度保障の現状、男女間の賃金格差問題等々、格差社会の中で広がる貧困と健康について考える報告をお待ちしています。

◆ 医療・介護・福祉の現場から見た労働者の健康

増大するワーキングプアは、必要な医療からしめ出され、健康被害の重篤化を招いています。また、経済的事由による手遅れ死亡事例も発生しています。医療・介護・福祉の現場から、労働者の生活環境、労働環境を捉え、医療・介護・福祉を提供する側としての取り組みや支援についてご報告ください。

◆ 外国人労働者の労働環境と健康

「技能実習生制度」は、外国人労働者に低賃金で長時間労働を強い、転職も帰国も許さない、「奴隷制度」を想起させます。そして、健康被害、過労死、自殺といった深刻な実態が明らかになっています。政府は成長戦略の一環として「外国人労働者の活用」を掲げ、外国人就労を拡大しようとしています。外国人労働者の人権への配慮は不十分です。外国人労働者の労働条件や健康問題を考えましょう。外国人労働者の労働実態や必要な取り組みをご報告ください。

◆ 働く女性の健康

労働者のたたかいにより、男女雇用機会均等法、パート労働法、労働契約法等々、働く女性の就労環境も法的な整備が進められてきました。しかし、実際にこれらの法律は職場でどれだけ活かされているのでしょうか。働く女性を取り巻く状況はどうなっているのか、どのようなことが求められているのかの報告をお願いします。

◆ 自営業・中小零細業者の健康

自営業や中小零細業者の中には、経営のため過重な労働を負い、また、経済的に余裕がなく病院に行けないといった事情から、健康被害を引き起こしたり、深刻化させるケースがあります。自営業や中小零細業者は労働法の保護もなく、社会保障制度のセーフティーネットもきわめて脆弱です。消費税の引き上げにより、経営の苦しさは増しており、健康被害も深刻化しています。自営業や中小零細業者の実態や取り組みについて報告をお願いします。

◆ 公務労働者の健康

国・自治体の職場では公務員の大幅な削減が進む一方で、非正規雇用が拡大しています。公共サービスを支えるために過重労働を強いられている公務の職場で、労働者は健康で働いているのでしょうか。公務で働く労働者の実態や必要な取り組みなどの報告をお願いします。

◆ ヒューマンサービス労働者の健康

慢性的な人員不足が続く医療・介護・福祉、合理化や規制緩和が進む保育、管理統制や評価システムの導入が進む教育など、労働の対象が“人”となるさまざまな職場で、過労、メンタル不調などの健康被害が広がっています。ヒューマンサービス労働の実態や職場の改善に向けた取り組みなどの報告をお願いします。

◆ 24時間社会・深夜労働と健康

医療、介護、コンビニ、流通、通信など夜間・深夜労働に従事する労働者によって、私たちの社会は成り立っています。しかし、そのような労働者の健康はどうなっているのでしょうか。その労働者の健康をどのように支えていくべきでしょうか。24時間社会と健康を考える報告をお待ちしています。

◆ 原発労働者の健康

福島原発事故の収束作業のために全国から集められた労働者は、高い被爆線量、徹底したコスト削減、強行な工程の押しつけなど、きわめて劣悪な条件のもとで労働を強いられています。原発労働者の健康問題について報告をお願いします。

《 報告の応募方法について 》

1、報告原稿の内容と送付方法

- ① 本案内3～6頁記載のテーマに沿った報告をお寄せ下さい。
- ② 報告は、セミナー当日に配布する冊子に掲載します。また、セミナー2日目の分科会で報告していただきます。
- ③ 報告のエントリーは「FAX申込書①」で**9月23日（金）**までにお送りください。
- ④ 報告はそのまま印刷の版下として使用しますので、原稿データをEメールで下記のアドレスまで送付してください。その際、ファイル名に必ず所属・氏名を明記してください。パソコンのメール環境のない方はご相談ください。
- ⑤ 資料を付けられる場合は、ワードやエクセル等のファイルかPDFファイルで原稿と一緒に送りください。原稿データのめ切は**10月7日（金）**です。
2MBを超える容量のデータをメールで送られる場合は、宅ふぁいる(<http://www.filesend.to/>)などを利用して送りください。

E-mail: okisemi27@gmail.com

(注) トラブル防止のため、報告原稿送付後、沖縄現地実行委員会事務局からの返信メールをご確認ください。

2、原稿の形式

報告原稿は、下記の形式で作成してください。

- A4サイズの縦用紙で2頁以内。上下左右の余白は25mm。
- 文字の大きさの目安は、タイトルは12ポイント、本文は10.5ポイントの明朝体。
- 横書きで、1行の文字数は38、行数40を目安に。
- 表題、所属団体、氏名を最初の5行までに記載。

(注)資料を添付された場合、編集の都合上、全ての資料を掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。応募原稿、資料は返却いたしません。

3、セミナー当日の報告の注意

- ① 報告時間は、多くの方の報告・発言を確保するため**7分以内**を厳守してください。
- ② パワーポイントを利用される方は、所定の申込書にご記入ください。ただし、プロジェクターの台数に制限がありますので利用できない場合があります。ご容赦下さい。
- ③ パワーポイント等のデータは、ウイルスチェックを行った後、原則CDで現地実行委員会に**10月28日（金）必着**でお送りください。

セミナー当日の持ち込みは、ウイルスチェック上お断りします。

(送付先) 〒900-0024 那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3F (沖縄県民医連気付)
人間らしく働くための九州セミナーin 沖縄現地実行委員会 担当:後藤

《 広告募金の応募について 》

1. 広告募金の目的と用途、メ切

広告募金は、九州セミナーin さがの成功を支える基盤のひとつです。ご協力をよろしくお願
いします。サイズと広告募金額は昨年と同様とします。サイズは見本を参考にしてください。

①お申込みの締め切りは**10月7日（金）**です。「FAX申込書②」でお申込みください。

②お支払い期限は**10月28日（金）**です。下記口座までお振り込みください。

恐れ入りますが、振込手数料は振込人にてご負担くださるようお願い申し上げます。

2. 広告サイズと募金額(見本を参照のこと)

サイズ	大きさの目安	申込番号	広告募金額
1P	A4の全面	A	80,000円
1/2P	A4の半面	B	40,000円
3/8P	A4の3/8	C	30,000円
2/8P	A4の1/4	D	20,000円
1/8P	A4の1/8	E	10,000円
1/16P	A4の1/16	F	5,000円

《 セミナー参加の申込みと参加費・支払方法について 》

【参加の申込み】

「FAX申込書③」に記載し、沖縄現地実行委員会事務局にFAXにてお申込みください。
お支払金額の確認、照合のため、参加者名・参加内容・金額等の詳細を必ずご記入ください。

■第1次申し込み期限 10月14日（金）

■第2次申し込み期限 10月28日（金）

■追加申し込み期限 **11月 4日（金）**

【参加費】

① 2日間参加 3,500円 ④ 交流会費 5,000円

② 1日参加 2,000円 ⑤ オプショナルツアー 3,500円

③ 学生（学生証提示） 1,000円

【お支払方法】

参加費・交流会費は、**10月28日（金）**までに下記口座までお振り込みください。

恐れ入りますが、振込手数料は振込人にてご負担くださるようお願い申し上げます。

広告募金・参加費・交流会費のお振込先

琉球銀行 豊見城（トミヨ）支店 （普通） 口座番号 662984
口座名義：九州セミナー沖縄現地実行委員会 代表 後藤勝治

《 宿泊について 》

***各自で手配をお願いします。**

《 平和学習オプションツアー 》

現地実行委員会では、九州セミナー終了後、平和学習オプションツアーを準備します。

ご希望の方は参加申込みと一緒に申し込み下さい。（締切日：10月28日）

定員45名先着順とし、定員に達し次第〆切とさせていただきます。又、最少催行人数を30名とし、申し込みが最少催行人数に達しない場合は自動的にキャンセルとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

参加費：3,500円

（ツアーガイド代、バス代、高速代、お弁当代、資料館観覧料込み）

【平和学習オプションツアーコース】

ていりる(12:40発)



沖縄大学(13:00着)



宜野湾市嘉数高台公園（普天間基地を一望できます）



平和祈念公園（平和の礎・平和祈念資料館）



魂魄之塔（戦後、住民・軍人・敵味方の別なく建立された慰霊塔）



那覇空港(18:30着)

*昼食は移動の車中となります。

*交通事情により、予定時刻の変動がありえますのでご注意ください。

*参加の可否について、確定次第連絡を致します。申し込み書には、必ず連絡の取れる連絡先を記入ください。

広告サイズ見本

A4全面は8万円です

〇〇生活協同組合

〒 〇〇市.....

F 広告金額5千円

E 広告金額1万

〇〇地区協議会

〒 〇〇市.....
TEL
FAX

〇〇労働組合

D 広告金額2万円

〒
TEL

〇〇市

FAX

人間らしく生き
みんなで力をあわせ

B 広告金額4万円

「方死」なくして
明るい職場を！

〇〇労働組合

〒 〇〇市

TEL

FAX

F A X 申 込 書 ①

送信先 沖縄現地実行委員会
FAX 098-833-3398

第27回九州セミナーin沖縄 報告原稿（エントリー）申込書

担当者（ ）

団体・組合名				住 所		
TEL番号			FAX番号			メールアドレス

報告原稿数 （ ） 本

報告者名			所属団体・組合			TEL番号		
報告演題1					パワーポイント	あり なし		

報告者名			所属団体・組合			TEL番号		
報告演題2					パワーポイント	あり なし		

報告者名			所属団体・組合			TEL番号		
報告演題3					パワーポイント	あり なし		

報告者名			所属団体・組合			TEL番号		
報告演題4					パワーポイント	あり なし		

報告者名			所属団体・組合			TEL番号		
報告演題5					パワーポイント	あり なし		

* この申込書は、原稿集約後の確認作業に使用しますので、9月23日（金）までに必ず提出
ください。

F A X 申 込 書 ②

送信先 沖縄現地実行委員会
FAX 098-833-3398

第27回九州セミナーin沖縄 広告募金申込書

担当者名 ()

団体・組合名		住 所			
TEL番号		FAX番号		メールアドレス	

広告募金 (希望される金額の英記号を○で囲んでください)

A 80,000円	B 40,000円	C 30,000円	D 20,000円
E 10,000円	F 5,000円		

広告原稿 (申込内容の英記号、数字記号を○で囲んでください)

A 昨年同様	B 新規申込	C おまかせ	D 変更 (1 募金額 2 広告内容)
--------	--------	--------	---------------------

- * この申込書は、10月7日(金)までに必ず提出ください。
- * 広告募金は、10月28日(金)までに下記口座にご入金ください。
- * 新規申込や広告内容を変更される団体は、広告原稿を添付ファイルにて、沖縄現地実行委員会宛にメールでお送りください。
- * お手数ですが入金後、**振込み報告書④** の書式にてFAXして下さい。

お振込先

琉球銀行 豊見城(トシヨ)支店 (普通) 口座番号 662984 口座名義：九州セミナー沖縄現地実行委員会 代表 後藤勝治
--

F A X 申 込 書 ③

送信先 沖縄現地実行委員会
FAX 098-833-3398

第 2 7 回九州セミナー in 沖縄 参加者名簿

担当者 ()

団体・組合名		住 所	
電話番号		F A X 番号	メールアドレス

○印を記入してください

NO	氏 名	性 別	所属団体	1日目 参加	2日目 参加	学生	交流会 参加	オプショナル ツアー	合計金額
例	沖縄 夏美	女	九州セミナー	○	○		○	×	8,500 円
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
			合計						

- * 参加者名簿の提出期限、参加費・交流会費のお支払い期限は、**10月28日(金)**です。
- * オプショナルツアー希望の方は、事務局からの参加可否の連絡後にご入金ください。
- * お手数ですが入金後、振込み報告書④の書式にて FAX して下さい。

FAX 振込み報告書 ④

送信先 沖縄現地実行委員会
FAX 098-833-3398

第27回九州セミナーin沖縄 振込み報告書

担当者名 ()

団体・組合名					
TEL番号		FAX番号		メールアドレス	

お振込み日

月	日
---	---

お振込み内容

通帳名義	振込額	円
------	-----	---

振込み額内容明細

	広告募金 (下記参照)	1日参加 (2,000円)	2日間参加 (3,500円)	学生 (1,000円)	交流会参加 (5,000円)	オプショナルツアー (3,500円)	振込み合計金額
	A B C D E F	名	名	名	名	名	
小計							円

広告募金			
A 80,000円	B 40,000円	C 30,000円	D 20,000円
E 10,000円	F 5,000円		

- * この報告書は、お振込み後、速やかにFAX送信してください。
 - * オプショナルツアー希望の場合、参加確定後にご入金ください。
- お振込先

琉球銀行 豊見城(トミヨ)支店 (普通) □座番号 662984 □座名義：九州セミナー沖縄現地実行委員会 代表 後藤勝治
--

《 申込み・振込みの〆切一覧 》

	<申込〆切>	<振込〆切>	<FAX申込用紙>
○報告エントリー	9月23日(金)	—	①
○報告原稿	10月7日(金)	—	—
○広告募金	10月7日(金)	10月28日(金)	②
○パワーポイント等データ	10月28日(金)	必着 —	—
○参加者	1次 10月14日(金)	—	③
	2次 10月28日(金)	—	③
	追加 11月4日(金)	—	③
○参加費・交流会費	—	10月28日(金)	—
○振込み報告書	入金後すみやかにFAX願います		④

《 九州セミナー 問い合わせ先・連絡先 》

九州セミナー本部事務局 担当：青木珠代
 〒804-0094 北九州市戸畑区天神 1-13-13 九州社会医学研究所内
 TEL 093-871-0449 FAX 093-872-3695
 Email seminar@k-shaiken.jp

沖縄現地実行委員会事務局 事務局長：後藤勝治
 〒900-0024 那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル3F (沖縄県民医連気付)
 TEL：098-833-3397
 FAX：098-833-3398
 Email：okisemi27@gmail.com

沖縄現地実行委員会事務局からのお願い

※当事務局へのお問い合わせについては、可能な限りメールかFAXでお願いします。
 ※業務の関係で、すみやかに対応が出来ないことが多々ありますことをご了承ください。

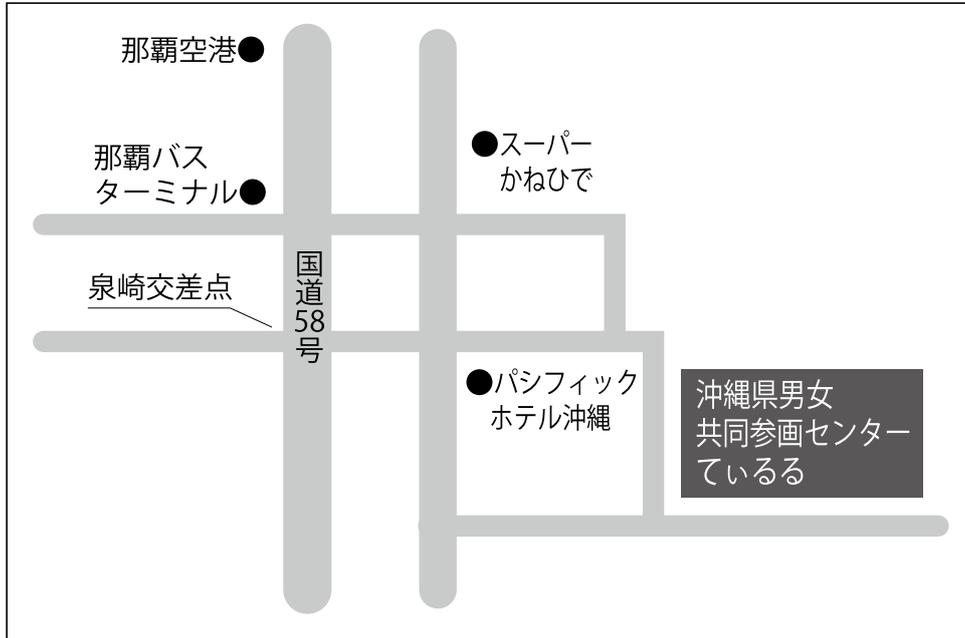
現地の最新のとりのくみ状況について

ホームページ URL:<http://kyusemi.jp/>

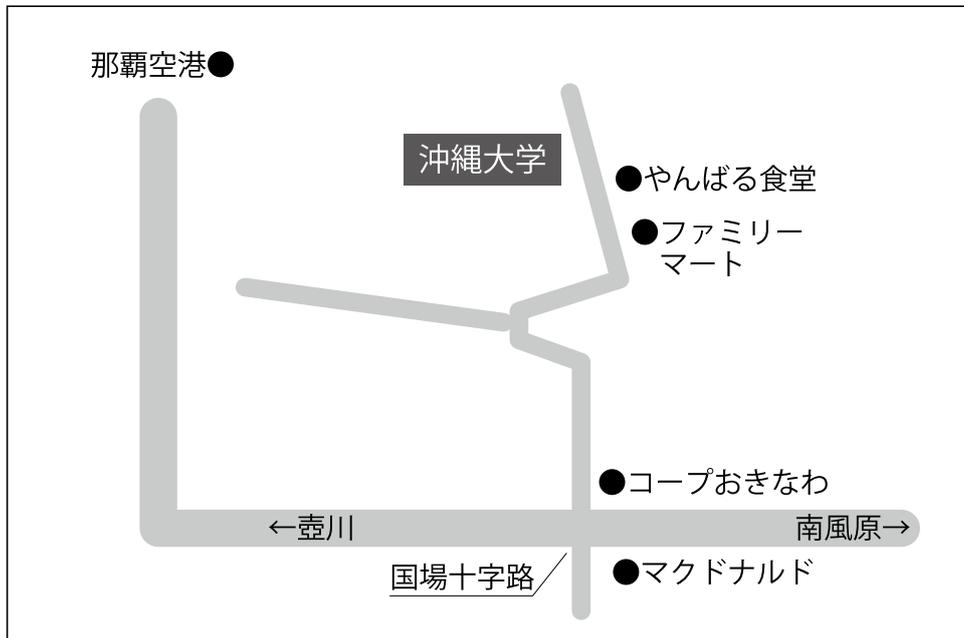
人間らしく働くための九州セミナーで検索して、ご確認ください。

会場案内

沖縄県男女共同参画センターているる



沖縄大学



空港 ⇨ ているる TAXIで約20分 (料金約1,500円)

ているる ⇨ 沖縄大学 TAXIで約30分 (料金約2,500円)

沖縄大学 ⇨ 空港 TAXIで約40分 (料金約3,500円)

※会場までは乗合い等のタクシー移動が便利です。